



International Symposium at Hitotsubashi University

# Border / Boundary Control in the Age of Transnationalization:

## Comparing Experiences in North America, E.U., & Japan



Thomas Faist  
Professor, Bielefeld Univ.  
"Forced Migration in an (Im)Moral Polity and the Public Role of Migration Research"

2018年  
10月27日(土)~10月28日(日)  
一橋大学国立西キャンパス インテリジェント・ホール  
(JR中央線国立駅より南へ徒歩10分)

使用言語: 日英 English/Japanese  
(同時通訳付 Simultaneous Interpretation)

主催: 一橋大学・国際社会学プログラム  
科学研究費プロジェクトチーム(基盤研究A) 移民・難民選別システムの重層的再編成))  
共催: 一橋大学・大学院社会学研究科  
後援: Hitotsubashi University International Fellow Program Inbound  
科学研究費(若手研究B) 国境管理におけるEUとNGOのパートナーシップ))  
基盤研究B) 社会的境界研究の構築と移民・トランスナショナリズムへの応用))

連絡先: 政治学・国際社会学共同研究室 (042-580-8803 trans\_soci@soc.hit-u.ac.jp)  
参加申し込みは、<https://goo.gl/forms/w4R6WH1CNQ7p4r82>からお願いします。



国際シンポジウム  
トランスナショナル化と  
国境/境界規制  
北米・EU・日本の比較

Transnational  
Sociology  
Program  
Hitotsubashi University  
25 years anniversary  
(25周年記念)

第1日……10月27日(土) 10:30~18:40 (開場10:00)

開会の辞……小井士彰宏◎一橋大学  
【総合司会】森千香子◎一橋大学

基調講演……トマス・ファイト◎ヒールフェルト大学  
“Forced Migration in an (Im)Moral Polity and the Public Role of Migration Research”

第1部(13:30~)……北米: トランスナショナル空間と移民管理レジームの厳格化  
ロバート・C・スミス◎ニューヨーク市立大学 ラファエル・アラルコン◎メキシコ北部国境大学院大学 飯尾真貴子◎一橋大学

【討論者】小井士彰宏 【司会】南川文里◎立命館大学

第2部(16:00~)……EU: 共通外部国境政策と移民/難民選別  
エレナ・サンチェス◎バルセロナ国際問題研究所 ハオロ・クティタ◎アムステルダム自由大学 錦田愛子◎東京外国語大学

【討論者】伊藤るり◎津田塾大学 【司会】柄谷利恵子◎関西大学

第2日……10月28日(日) 13:30~18:40 (開場13:00)

第3部(13:30~)……日本: 「移民政策」なき入管体制とトランスナショナル関係の多元的拡張  
塩原良和◎慶応義塾大学 鈴木江理子◎国土領大学 恵羅さとみ◎成蹊大学

【討論者】トマス・ファイト、ロバート・C・スミス 【司会】小井士彰宏

第4部(16:30~)……総括討論——地域間比較と日本の移民政策の今後  
1~3部のパネリスト、【司会】森千香子



日時: 2018年10月27日(土) 10:30-18:30  
28日(日) 13:30-18:40

使用言語: 日本語・英語(同時通訳有)  
要事前申込: <https://goo.gl/forms/w4R6WH1CNQf7p4rB2> にて受付

一橋大学・社会学研究科・国際社会学プログラムでは、きたる10月27日(土)・28日の2日間、国際シンジウムを「トランスナショナル化と国境/境界規制」Border/Boundary Control in the Age of Transnationalizationと題して、現在深刻化するトランスナショナル社会空間と、物理的国境のみならず広い意味での社会境界管理強化との深化する矛盾を巡る諸問題を検討します。このために、国際社会学プログラムを拠点とした科学研究費基盤研究(A)「移民難民システムの重層的再編成」の最終年度の企画としての、国際研究交流と発信の会議です。

このために、ビーレフェルト大学のトマス・ファイト教授をはじめとして北米、EUからトランスナショナル研究と国境研究における第一線の研究者を招き、国際的研究の最前線の成果を報告いただくとともに、科学研究費プロジェクトメンバーの報告を合わせて行う機会とします。

トランプ政権の誕生と反移民政策、EUにおける大量難民への対応の混迷など、状況の錯綜とする中、国際的な最新状況の正確な分析を内外の研究者が報告するとともに、急激に変動する日本における政策とその引き起こしつつあるトランスナショナルな関係性の今後について、日本の研究者の報告をもとに、海外の移民研究者とともに、今後の日本の政策について考える機会としたいと思います。

## 海外ゲスト講演者紹介



トマス・ファイト [ビーレフェルト大学]  
Thomas Faist (Bielefeld University)

欧州におけるトランスナショナルな移民研究のリーダーとして活躍する社会学者

専門領域: 国際移民の社会学、トランスナショナル空間論、Diasporaと社会開発

主要文献:

- *The Volume and Dynamics of International Migration and Transnational Social Spaces* (2000) Oxford Univ. Press
- *Transnational Migration*: [共著] (2013) Polity
- *Diaspora and Transnationalism: Concepts, Theories and Methods* [共著] (2010) Amsterdam Univ. Press



ロバート・C・Smith  
[ニューヨーク市立大学]

Robert C. Smith  
(The City University of New York-CUNY)

専門領域: トランスナショナル移民研究、  
メキシコ・ニューヨーク間の移住現象の分析

主要著書: *Mexican New York: Transnational Lives of New Immigrants* (2005) Univ. of California Press (ASA、Robert Park賞 受賞作)



エレナ・サンチェス  
[バルセロナ国際問題研究所]

Elena Sanchez  
(Barcelona Centre for International Affairs -CIDOB)

専門領域: 移民統合策の国際比較、  
ヨーロッパ難民共通政策

主要著書・論文: 『21世紀のためのヴィザ政策』(西語)(2012)CIDOB,  
"Asylum Policy and the Future of Turkey" *FEUTURE* No.18



ラファエル・アラロン  
[メキシコ北部国境大学院大学]

Rafael Alarcon  
(El Colegio de Frontera Norte-COLEF)

専門領域: メキシコ・アメリカ間の移民研究、  
米墨国境地域研究

主要著書: *Return to Aztlan* [共著] (1987) UC Press.  
*Making Los Angeles Home* (2016) UC Press



パオロ・クッティッタ  
[アムステルダム自由大学]

Paolo Cuttitta  
(VU University of Amsterdam)

専門領域: 人文地理学、パレルモ出身でランペドゥーサ  
島を中心に難民を巡る支援と監視の両面を中心に研究

主要論文: "Repoliticization Through Search and Rescue? Humanitarian  
NGOs and Migration Management in the Central Mediterranean"  
(2017) *Geopolitics*

## 会場案内

一橋大学・国立西キャンパス・インテリジェントホール

JR中央線 国立駅南口より 徒歩6分

JR南武線 谷保駅北口より 徒歩20分

\* プログラム等詳細は、一橋大学国際社会学プログラムのWEBサイト  
<https://soc.hit-u.ac.jp/~trans-soci/index> をご参照ください。

